

子どもから高齢者まで多世代の交流を生む地域づくりの取組とは？

淳風とよなか社会貢献委員会 (豊中市)



団体の活動内容

特別養護老人ホーム 淳風とよなかをはじめ、小規模多機能ホームや訪問介護を運営する「社会福祉法人淳風会」

平成28年6月に「淳風とよなか地域貢献委員会」を発足し、地域とのつながりを作り続けています。

〈活動開始時期〉 平成28年6月

〈委員会メンバー数〉 8名

〈プロボノプロジェクト参加メンバー〉 24名

主な取組について

①ふれあい市（毎月1回）

近隣のスーパーがすべて閉店し、買物支援が必要と考え、施設に出入りする業者を中心に野菜・果物販売、日用品、お菓子、衣類等の販売を開始。

イートインコーナーを作り、コーヒー、紅茶などの飲み物を販売（買い物頂いた方は1杯無料）、買物後のつどいの場となっています。

看護スタッフにより健康相談コーナーを設置。健康手帳をお渡しし、毎月管理できるようにしています。また、年に2回は骨密度や握力測定などの健康チェック会を開催しています。



カフェコーナー



ふれあい市



看護スタッフ健康相談

主な取組について

②料理教室（年4回）

毎回テーマを決め、そのテーマにそったメニューを作って、食べて頂きます。その後、勉強会や演奏会を行い、参加者同士の交流を図って頂いています。最近では男性の参加もあり、食事を作る大切さ、楽しさを感じて頂いています。



管理栄養士から説明



職員と一緒に、調理中・・・



参加者・職員と食事会



男性も参加されています！

主な取組について

③毎日体操（毎日14時～）

施設の駐車場を使って、地域の方に参加頂いています。（暑い日や雨の日は施設内で行います。）施設ご利用者と一緒に参加頂くため、体操後の茶話会では利用者と地域の方の交流の場となっています。現在火曜日だけは地域の体操グループが主体で開催してくれています。



気候が良い日は、玄関先で
＼(◎o◎)／

寒い日は、室内で
＼(◎o◎)／



ご利用者・地域の方が
一緒に行っています
＼(◎o◎)／

主な取組について

④音楽教室（毎月1回）

地域で音楽活動をしているボランティアさんに来ていただき、音楽療法のような体験型音楽教室を開催しています。施設利用者と一緒に参加してもらうことで、地域の方との交流の場となっています。



主な取組について

⑤施設開放（週3回）

地域交流スペース「夢日記」を地域に開放しています。地域の体操グループ（毎日体操とは別グループ）が週1回利用しています。また、夕方からは小学生たちが宿題や遊ぶ場として利用しています。このスペースにはキッズエリアもあり、幼児も遊べるようになっています。

子供たちには、まず宿題！
終わった子供から自由に、
遊んでもらっています。



子供と大人が交わる時間
も少しずつ出来てきました。

大人たちは、元気に体操！
その後、手作りおやつのお披露目
の場になりつつあります。



大阪ええまちプロジェクトでの支援

■ 課題・悩み

2018年9月に40人収容できる地域交流スペース「夢日記」を設置。キッズスペースをはじめ、フリーWIFIを設置するなど、地域の集会場や児童館のように多世代が集まる場所を目指しているが、対応できる人員やノウハウ不足により、スペースの活用が限定されている。また、周知活動や実施に向けての計画の立て方に悩んでいた。

■ 解決に向けて

「夢日記」が地域にどんなことを求められているか調査を行い、現行チラシのリニューアルに取り組む。



子どもから高齢者まで多世代の交流を生む地域づくりの取組とは？

- ・ 地域住民が各団体さんが主体となり、多世代の人たちが生活や地域活動を行えるようになる。
- ・ 地域の抱える課題や取組みに対して様々な人たちが連携することができる。

その拠点となるよう『**地域交流スペース“夢日記”**』を多くの方のご利用いただきたい。



夢日記玄関



交流スペース内



キッチン



キッズスペース
現在、幼児にもこれまで
以上使いやすくなるよう、
整備進行中。
ご期待！！

子供から高齢者まで多世代の交流を生む拠点となり



自治会祭り



餅つき大会



もっどぐるっと庄西



隣接公園で開催 きむらとしろうじんじん野点



近隣小学校開催
サマーカーニバル



地域合同防災訓練



納涼会



地区運動会



地域夜警



多くの笑顔が溢れる場所になるよう、一步一步進んでいきます。